

2025年10月6日
東京センチュリー株式会社

福岡・飯塚第一メガソーラー発電所における FIP 制度への移行と併設蓄電池の設置について

～当社 3 号案件となる FIP 併設蓄電池事業へのスピード着手～

東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤原 弘治、以下「当社」）は、当社グループの京セラ TCL ソーラー合同会社が運営・管理する福岡・飯塚第一メガソーラー発電所（以下「本発電所」、出力 1,990kW）において、FIT 制度から FIP 制度への移行および蓄電池を併設すること（以下「本プロジェクト」）を決定し、本年 9 月より本蓄電池の設置工事を開始しました。本プロジェクトは、業界に先駆けて 3 件目の併設蓄電池事業に着手するものであり、引き続きスピード感をもって蓄電池事業の拡大と普及に取り組んでいきます。



写真：福岡・飯塚第一メガソーラー発電所

本プロジェクトでは、稼働済みの本発電所内に蓄電池を併設し、従来出力制御により活用されていなかった電力を蓄電・供給することで再生可能エネルギーを最大限に活用します。また、天候に左右される太陽光発電の出力変動を蓄電池が吸収することで、電力ネットワーク全体の安定化に貢献するほか、大規模災害時による停電時などには、地域への非常用電源としての活用も期待されます。なお、蓄電池の設置工事は、本発電所を施工したテス・エンジニアリング株式会社が施工します。

当社は、「中期経営計画 2027」における成長戦略の一つとして「蓄電池発電所の新設および併設型蓄電池の活用」を掲げています。2024 年 6 月に併設蓄電池事業として業界に先駆けて稼働した「熊本・荒尾メガソーラー発電所」、および、2025 年 6 月に蓄電池設置工事に着手した「鹿児島・霧島メガソーラー」に続く、第 3 号案件として本プロジェクトを推進しています。当社は、国内の FIP 併設蓄電池事業におけるフロントランナーとして、引き続き蓄電池事業の拡大・普及に取り組み、再生可能エネルギーの主力電源化と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■ プロジェクトの概要

発電事業者	京セラTCLソーラー合同会社
発電所所在地	福岡県飯塚市
太陽光発電設備	出力 1,990kWac
蓄電池システム	出力 1,500kWac/容量約 6,000kWh
太陽光発電所 運転開始時期	2018年12月
蓄電池 完工予定時期	2026年2月

■ 各社概要

1. 京セラTCLソーラーの概要

商号	京セラTCLソーラー合同会社
本社所在地	東京都千代田区神田練堀町3
代表者	代表社員 東京センチュリー株式会社
事業内容	太陽光発電事業による売電事業
URL	https://www.tokyoCentury.co.jp/kyoceratclsolar/

2. 東京センチュリーの概要

商号	東京センチュリー株式会社
本社所在地	東京都千代田区神田練堀町3
代表者	代表取締役社長 藤原 弘治
事業内容	国内リース事業、オートモビリティ事業、スペシャルティ事業、国際事業、環境インフラ事業
URL	https://www.tokyoCentury.co.jp/

3. テス・エンジニアリングの概要

商号	テス・エンジニアリング株式会社
本社所在地	大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー
代表者	代表取締役社長 高崎 敏宏
事業内容	省エネ・再エネ設備のEPC、オペレーション&メンテナンス(O&M)、再生可能エネルギー発電所の所有・運営・売電、電気の小売供給(新電力)、エネルギーマネジメントサービス、24時間遠隔監視サービス、ERABサービス、燃料供給サービス(LNG、バイオマス燃料等)他
URL	https://www.tess-eng.co.jp/

以上

■ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先

東京センチュリー株式会社

広報 IR 部 03-5209-6710